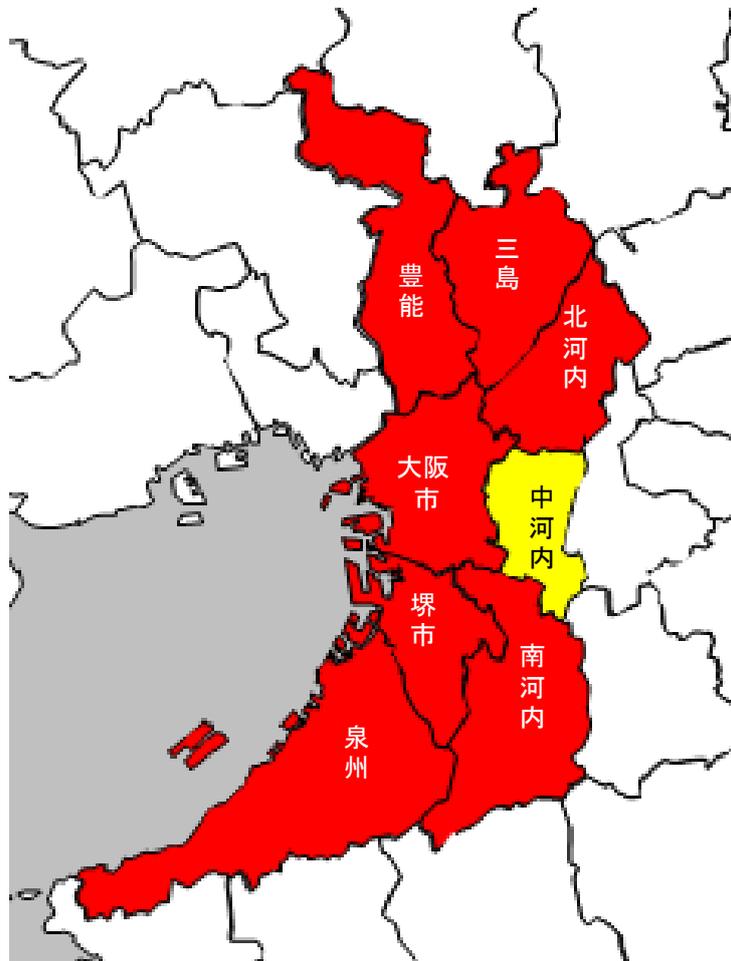


27. 大阪府



27 大阪府

A. 医療提供体制の現状

大阪府の特徴は、(1) 府全域で高度医療が行われている、(2) 東京都や愛知県と比較すると医療提供が過剰、(3) 堺、泉南に多い療養や精神病床である。

(1) 府全域で高度医療が行われている

大阪の8つ全ての医療圏において、年間1,000件以上の全身麻酔を行う基幹病院が少なくとも3つあり、中河内を除いた7つの医療圏において年間1万件を超える全身麻酔が行われている。

(2) 東京都や愛知県と比較すると病床過剰

人口10万人当たり一般病床数は、東京都全域が632床、特別区が673床、愛知県全域が549床、名古屋市が738床であるのに対し、大阪府全域で739床、大阪市が982床である。データで見る限り、南部を除き大阪府、特に大阪府は、東京都や愛知県と比較すると病床過剰地域である。救急のたらい回しが問題になるのは、供給量不足以外の要因が関与していると思われる。

(3) 堺、泉南に多い療養や精神病床

堺や泉南は、病床数が多いが、一般病床数が少なく、高齢者施設、療養病床、精神病床が多い。東京の西多摩や南多摩に似た状況にある。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(豊能、三島、南河内)

豊能(吹田)には大阪大学、三島(高槻)には大阪医大、南河内(大阪狭山)には近畿大学がある。これらの地域の偏差値は、一般病床(49)と(49)と(53)、病院勤務医(53)と(55)と(59)、全身麻酔件数(53)と(50)と(53)、総看護師数(49)と(48)と(52)であり、医療資源レベルの高い地域である。また高齢者施設や住宅の偏差値も50を超え、大都市としては充実した地域である。2010→35年の医療の総需要が10%増、11%増、6%増、0-64歳が30%減、29%減、35%減、75歳以上が81%増、95%増、81%増であり、東京や名古屋近郊と比べた場合、0-64歳の医療需要の落ち込みが大きい(10%程度多く減少する)。今後、急性期の医療提供体制の過剰感が強まることが予想されるので、医師養成数の適正化や、これらの地域で働く医師へ医師不足地域での勤務を促す誘導策が望まれ

る。また、高機能病床のダウンサイジングや、急性期病床の一部を後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

(北河内、中河内、堺市)

これらの地域の偏差値は、一般病床（47）と（43）と（47）、病院勤務医（48）と（42）と（47）、全身麻酔件数（47）と（45）と（49）、総看護師数（45）と（41）と（51）であり、医学部のない地域としては医療資源レベルの高い地域であるが、北河内と中河内の患者は大阪市への、堺市の患者は南河内への入院が多い。大都市としては、高齢者施設や住宅は、充実している。2010→35年の医療の総需要が5%増、4%増、8%増、0-64歳が34%減、30%減、29%減、75歳以上が90%増、71%増、83%増であり、0-64歳の医療需要の落ち込みが大きく、急性期医療の過剰感が強まることが予想される。急性期病床のダウンサイジングや一部を高齢者に対応する病棟へ転換、75歳以上の医療需要増に対応して、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強、などが必要だろう。

(泉州)

泉州の偏差値は、一般病床（41）と少ないが、療養病床（59）、精神病床（69）が高い。一方、病院勤務医（48）、全身麻酔件数（50）、総看護師数（54）と、全身麻酔件数も全国平均で行われている。2010→35年の医療の総需要が12%増、0-64歳が23%減、75歳以上が76%増と、地域の医療・介護の高い需要増や大阪市からの高齢者の流入が見込まれる地域なので、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強、地域内や大阪市、堺市とのネットワークの強化などが必要である。

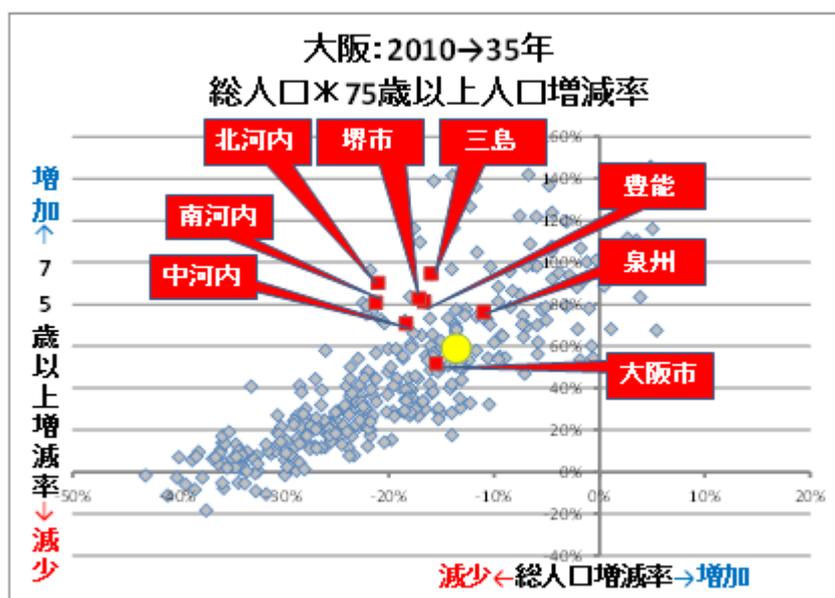
(大阪市)

大阪市の偏差値は、一般病床（61）、病院勤務医（60）、全身麻酔数（58）、総看護師数（54）であり、大阪市には、年間1,000例以上の全身麻酔を行う基幹病院だけでも21ある、東京の中心部に匹敵する急性期医療機関の密集地域である。一方2010→35年の医療の総需要が4%増、0-64歳が26%減、75歳以上が52%増であり、東京特別区や名古屋市と比べ、0-64歳の医療需要の落ち込みが大きい。今後、急性期の医療提供体制の過剰感が強まることが予想される。医師養成数の適正化と大阪で働く医師の医師不足地域での勤務を促す政策誘導、高機能病床のダウンサイジングが望ましい。一方75歳以上の医療需要は52%増加が予想されるため、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

表 27-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
大阪府	8,865,245	3位	1,898	46位	4,669.7		22%	-17%	72%
豊能	1,012,902	11%	275	15%	3,677.0	大都市型	21%	-17%	81%
三島	744,836	8%	213	11%	3,488.9	大都市型	21%	-16%	95%
北河内	1,185,935	13%	177	9%	6,685.8	大都市型	22%	-21%	90%
中河内	855,766	10%	129	7%	6,638.5	大都市型	23%	-18%	71%
南河内	636,008	7%	290	15%	2,193.7	大都市型	23%	-21%	81%
堺市	841,966	9%	150	8%	5,613.5	大都市型	22%	-17%	83%
泉州	922,518	10%	441	23%	2,092.7	大都市型	21%	-11%	76%
大阪市	2,665,314	30%	222	12%	11,980.6	大都市型	22%	-15%	52%

図 27-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012
 (A. 「医療提供体制の現状」、表27-1、表27-2、表27-5、図27-4)
 厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H. 24. 3
 (図27-5)

表 27-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
大阪府	114,645	6.9%	1,293	50	65,531	7.2%	739	51	82,178	6.1%	99	51
豊能	11,889	10%	1,174	47	6,902	11%	681	49	11,197	14%	120	62
三島	9,701	8%	1,302	50	5,156	8%	692	49	6,442	8%	99	52
北河内	12,713	11%	1,072	45	7,628	12%	643	47	11,052	13%	111	57
中河内	8,071	7%	943	43	4,585	7%	536	43	7,440	9%	96	50
南河内	8,716	8%	1,370	51	5,004	8%	787	53	6,077	7%	96	50
堺市	13,338	12%	1,584	56	5,412	8%	643	47	7,545	9%	96	50
泉州	15,564	14%	1,687	58	4,672	7%	506	41	8,639	11%	102	53
大阪市	34,653	30%	1,300	50	26,172	40%	982	61	23,786	29%	88	46

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 27-2 病床数（人口10万当たり）、総高齢者ベッド数（75歳以上1,000人当たり）

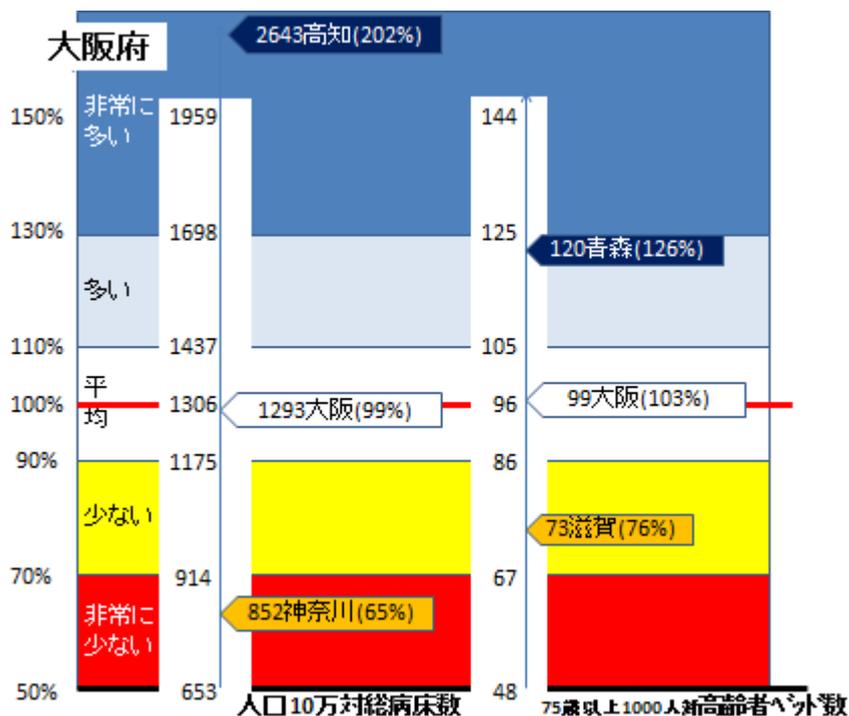


表 27-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
大阪府	23,078	6.9%	260	50	5,088	8.2%	57	52	19,519	5.6%	220	48
豊能	1,646	7%	163	45	831	16%	82	58	2,035	10%	201	47
三島	1,361	6%	183	46	558	11%	75	56	2,626	13%	353	54
北河内	2,165	9%	183	46	621	12%	52	51	2,026	10%	171	45
中河内	1,201	5%	140	44	438	9%	51	51	1,847	9%	216	47
南河内	1,770	8%	278	51	180	4%	28	45	1,662	9%	261	49
堺市	4,118	18%	489	61	439	9%	52	51	2,917	15%	346	53
泉州	4,089	18%	443	59	605	12%	66	54	6,165	32%	668	69
大阪市	6,728	29%	252	50	1,416	28%	53	51	241	1%	9	38

表 27-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
大阪府	10	4.9%	1.1	48	14	3.7%	1.6	46	6,152	7.0%	69	50
豊能	2	20%	2.0	52	2	14%	2.0	47	716	12%	71	51
三島	1	10%	1.3	49	1	7%	1.3	45	577	9%	77	52
北河内	1	10%	0.8	47	1	7%	0.8	44	812	13%	68	50
中河内	1	10%	1.2	48	1	7%	1.2	45	509	8%	60	48
南河内	1	10%	1.6	50	2	14%	3.1	51	357	6%	56	47
堺市	0	0%	0	43	1	7%	1.2	45	616	10%	73	51
泉州	1	10%	1.1	48	1	7%	1.1	45	762	12%	83	54
大阪市	3	30%	1.1	48	5	36%	1.9	47	1,803	29%	68	50

表 27-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数				総看護師数				全身麻酔件数			
	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
大阪府	12,198	7.8%	138	53	58,323	6.9%	658	50	137,184	7.7%	1,547	52
豊能	1,430	12%	141	53	6,437	11%	636	49	16,622	12%	1,641	53
三島	1,093	9%	147	55	4,650	8%	624	48	10,656	8%	1,431	50
北河内	1,317	11%	111	48	6,481	11%	546	45	13,920	10%	1,174	47
中河内	666	5%	78	42	3,895	7%	455	41	8,250	6%	964	45
南河内	1,091	9%	172	59	4,500	8%	708	52	10,384	8%	1,633	53
堺市	903	7%	107	47	5,814	10%	690	51	10,806	8%	1,283	49
泉州	1,031	8%	112	48	6,830	12%	740	54	12,620	9%	1,368	50
大阪市	4,667	38%	175	60	19,716	34%	740	54	53,926	39%	2,023	58

図 27-3 病院勤務医数 (人口 10 万人当たり)

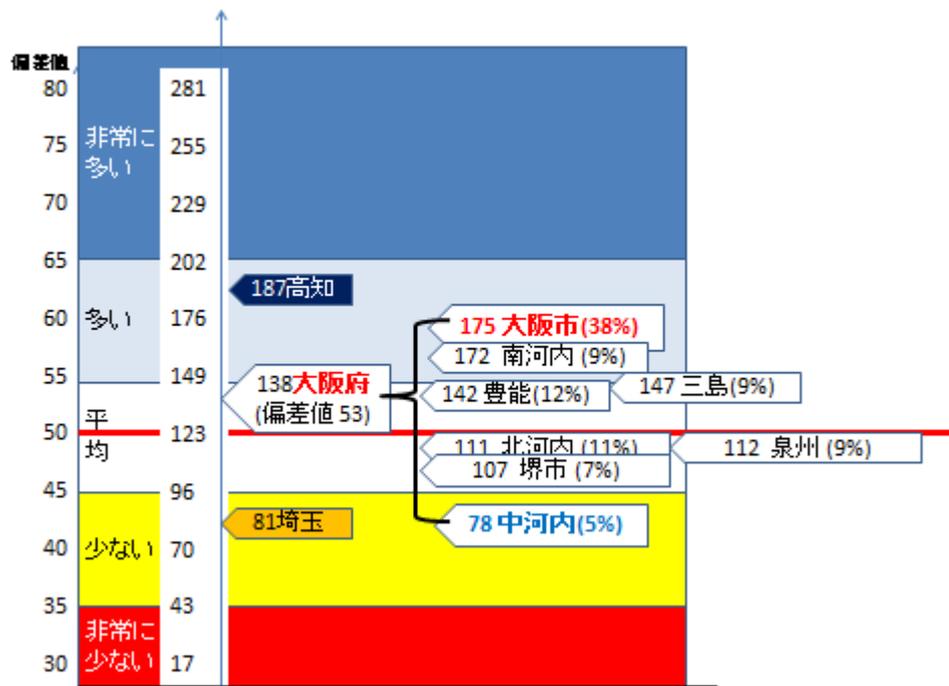


図 27-4 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数

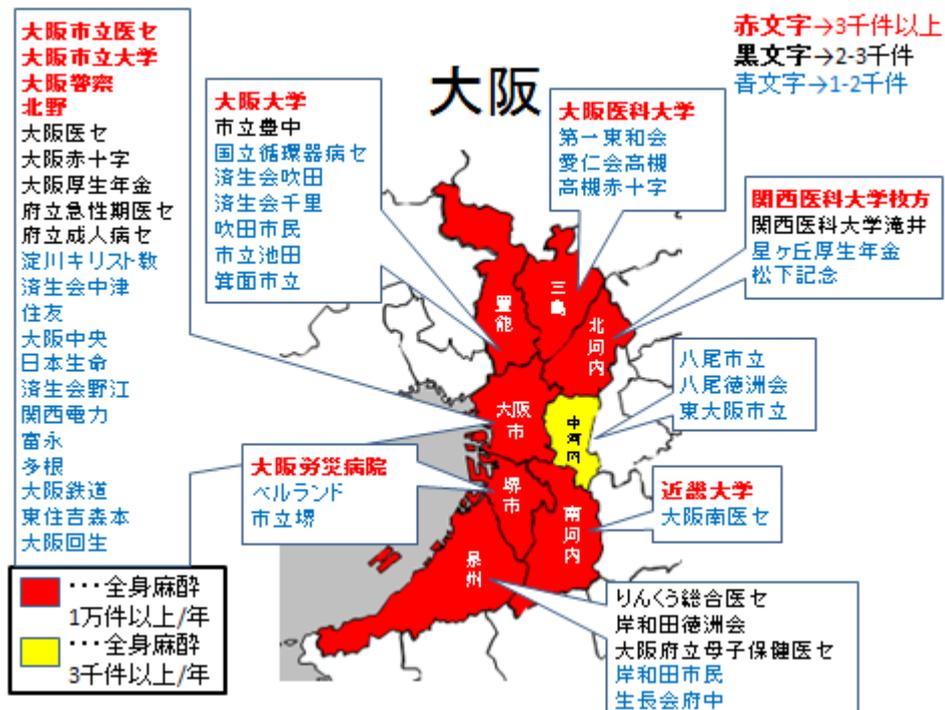


図 27-5 二次医療圏（流入出）

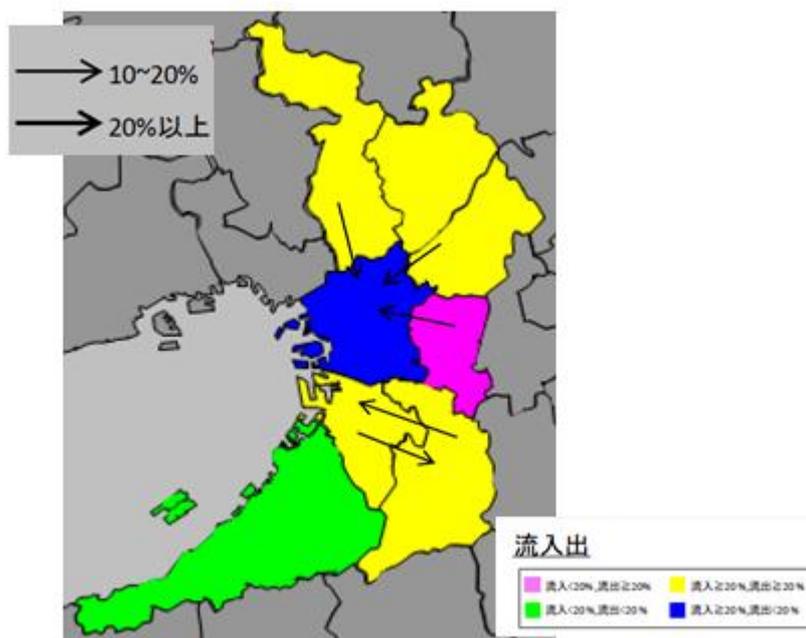


表 27-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
大阪府	40,887	5.8%	49	49	16,439	5.3%	20	46	24,448	6.2%	29	51
豊能	4,313	11%	46	47	1,452	9%	16	39	2,861	12%	31	52
三島	3,206	8%	49	49	1,283	8%	20	46	1,923	8%	30	51
北河内	5,162	13%	52	51	2,259	14%	23	51	2,903	12%	29	51
中河内	3,976	10%	51	51	1,451	9%	19	44	2,525	10%	33	54
南河内	3,329	8%	53	52	1,155	7%	18	44	2,174	9%	34	56
堺市	3,556	9%	45	46	1,490	9%	19	45	2,066	8%	26	48
泉州	4,002	10%	47	47	1,765	11%	21	48	2,237	9%	26	48
大阪市	13,343	33%	49	49	5,584	34%	21	48	7,759	32%	29	50

表 27-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者住宅数				有料老人ホーム計				グループホーム			
	高齢者住宅数合計	全国シェア県内シェア	75歳1,000人当り	偏差値	有料老人ホーム計	全国シェア県内シェア	75歳1,000人当り	偏差値	グループホーム	全国シェア県内シェア	75歳1,000人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
大阪府	41,291	6.5%	50	52	18,292	7.8%	22.0	55	6,216	3.9%	7.5	44
豊能	6,884	17%	74	66	3,304	18%	35.4	67	766	12%	8.2	45
三島	3,236	8%	50	52	1,320	7%	20.4	53	377	6%	5.8	41
北河内	5,890	14%	59	57	3,146	17%	31.5	64	819	13%	8.2	45
中河内	3,464	8%	45	50	1,256	7%	16.2	49	682	11%	8.8	46
南河内	2,748	7%	44	49	1,060	6%	16.8	50	464	7%	7.3	44
堺市	3,989	10%	51	53	1,431	8%	18.2	51	694	11%	8.8	46
泉州	4,637	11%	55	55	1,849	10%	21.8	55	574	9%	6.8	43
大阪市	10,443	25%	39	46	4,926	27%	18.2	51	1,840	30%	6.8	43

表 27-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域区分	2010→35 総医療 需要	2010→35年間の医療需要予測				2010→35 総介護 需要
			2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
大阪府		7%	-29%	-10%	-22%	72%	58%
豊能	1	10%	-30%	-5%	-21%	81%	66%
三島	1	11%	-29%	-12%	-23%	95%	75%
北河内	1	5%	-34%	-18%	-28%	90%	69%
中河内	1	4%	-30%	-13%	-23%	71%	55%
南河内	1	6%	-35%	-17%	-28%	81%	64%
堺市	1	8%	-29%	-16%	-24%	83%	65%
泉州	1	12%	-23%	-1%	-15%	76%	63%
大阪市	1	4%	-26%	-4%	-18%	52%	42%

図 27-6 大阪府 2010 年→35 年介護医療需要の増減予測

